

05/Nov.1012

07:00 (日本時間) JR 最寄り駅発

10:50 (日本時間) 関空離陸

14:28 (ここより現地時間で表記) ホーチミン (HO CHI MINH) 空港着陸。

空港にて VD (ベトナムドン) に両替。レートは10,000ドンが40.48円。

Exchange の明細書は無い。

メモを要求すると細断した使用済の紙片に手書き。レートはほぼ正しいものであった。

ホーチミンで再びベトナム航空の別便に乗り換えて、プノンペン (カンボジア) 空港経由でビエンチャンに向かうこととなる。関空からの乗客の殆どがホーチミンが目的地である。さらに、満席状態でプノンペンに向かう。

ホーチミンからプノンペンまで約40分。すぐに着陸態勢に入る。プノンペンでも約半数の乗客がここを目的地としている。

プノンペンで一旦降機の上、セキュリティチェックを受ける。これが中々厳しい。さらに、満席状態でビエンチャンに向かう。

19:30 ビエンチャン空港着陸。K (キープ) に両替。1,000K が約10円。

空港案内でタクシー確保し、ホテルへ。料金はUS\$7\$。Hotel Khamvongsa。

Wat Inpeng に隣接。一泊朝食付40\$。パイナップルJ100円、水100円など。

一休みして、夜の街へ。イタリアンレストランで夕食。イタリア人のオーナーシェフである。何故か、こうした外国人の起業が多い。サラダと Rib Eye Steak で2350円。



空港島を眼下に関空を離陸



HO CHI MINH 空港着陸
旧サイゴンである。統一された南ベトナムに降り立つなんて・・・夢の物語である。



HO CHI MINH は雨に煙っている



←プノンペン市街を眼下に着陸する。ポルポトの国はどうなっているのか？容認できない歴史の無駄であった。クメールルージュの幸せを願う。



←ビエンチャン空港に着陸。時、まさに Lao は ASEM のホスト国を務めている。空港には多くの政府専用機が駐機中である。左橋には日本政府専用機の機影も。この駐機場と VIP が immigration に使うホール施設を日本の援助で建設したと言う